

---

# ケンゴとポケモン

トレーナー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ケンゴとポケモン

### 【Nコード】

N1252BA

### 【作者名】

トレーナー

### 【あらすじ】

いじめられっ子の少年、ケンゴ。

彼は、いじめっ子の自分勝手な行動によって、なぜかポケモンの世界へと迷い込む。

様々な出会いと別れを経験し、少年は成長していく!!。

## ポケモンの世界へと

11月の東京、流石に寒い。

コートのポケットに手をつまみ込む。

おっと、自己紹介がまだだったな、俺はケンゴ、13歳だ。

ただいま下校中、信号待ちしている所だ。

???「おい！ケンゴ！！」

何者かが俺を呼ぶ、だいたい予想はつくが。

俺は渋々振り向く。

ケンゴ「あつ、来た！」

???「舐めた口きくな！！」

彼は、ジンタ。いじめっ子だ。

毎日、毎日飽きもせず、俺に嫌がらせをしてくる。そのせいで、俺には友達がない、皆かかわりたくないのだ。

ジンタ「成績優秀、スポーツ万能、天才少年だあ？フザケンナ！！  
とにかく、お前、ムカつくんだ！！」

ケンゴ（俺は学んだ。イジメに理由なんかない、と）

なんだよ？ムカつく？知るかよ！

俺は飽きれてジンタに背をむけた。

その行為が彼の怒りの心に火をつけたのだろう、ジンタは、近くに  
あったゴミ捨て場から見るからに硬そうなゴミを拾う。

ジンタ「うおおおお！！！」

ジンタは雄叫びをあげ、俺に狙いをつけ、ゴミを投げつける、ゴミ  
は俺の後頭部に一直線！。

ゴッ！！！！

鈍い音がする、世界が闇に包まれていく。

見事にゴミは俺の後頭部に直撃した。

俺は、倒れた、行きかう人々は、「きゃー！！」だの「わー！！」だの  
騒いでいる。

まあ、人がいきなり倒れたら驚くよね？トーゼンのリアクションが、  
.....  
ジンタ「ああ、やつちまった!!」  
彼もこんなに大事になるとは思っていなかったらしく、慌ててこの  
場から逃げ出した。  
やがて、なにも、聞こえな、く.....

ケンゴ（んっ？ここは？）

俺は意識を失っていたらしい・・・  
気がつくと、そこはベットの上だった。

ケンゴ（病院？かな？）

???「おー！目が覚めたか！」  
ケンゴ「だっ、誰!？」

白衣を着たおじいさんが立っている。

何処かで、見たような・・・

ケンゴ「おじいさん、先生？」

???「先生、ちと違うの。わしはオーキド

、ポケモンの研究をしとる」

ケンゴ「ポ、ポケモン!？」

オーキド「おや？ポケモンを知らんのか？」

ケンゴ「えっ？し、知ってます知ってます!!ポケットモンスター  
略してポケモン」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1252ba/>

---

ケンゴとポケモン

2012年1月3日01時52分発行